

## 「地域を支える調査・設計業」検討会議 第33回全体会議概要

1 日 時 平成31年（2019年）3月13日（水）10:00～11:40

2 場 所 長野県庁 講堂

3 出席者 （一社）長野県測量設計業協会（以下、「測協」）  
（一社）建設コンサルタンツ協会 関東支部 長野地域委員会（以下、「建コン」）  
（一社）日本補償コンサルタント協会 関東支部 長野県部会（以下、「補償コン」）  
長野県地質ボーリング業協会（以下、「地質協」）  
（一社）長野県建築士事務所協会（以下、「事協」）  
アドバイザー（以下、「A d v」）  
長野県（建設部、農政部、林務部、会計局、企業局）（以下、「県」。但し、建設技監は「座長」。）

### 4 議 事

（1）県からの報告事項等（県から説明）

①平成31年度当初予算（平成30年度2月補正予算含む）について【資料1】

・特に意見等なし

②平成31年度建設部施策方針について【資料2】

・特に意見等なし

③建設産業の次世代を担う人づくり推進事業について【資料3】

[測協] ・測協でも県内各校で測量実習を行っているし、学校によっては平板測量の大会にチームを出して取り組んでいるところもある。測量士補という資格は高校生でも受験可能であるため、『2級土木・建築施工管理技士』資格取得支援事業に「測量士補」も加えていただきたい。

[県] ・平成31年度はこのスキームで進めたい。  
・ご要望ということで、今後の検討課題とさせていただきます。

④建設工事に係る委託業務における低入札価格調査の実施について【資料4】

・特に意見等なし

⑤受注希望型競争入札の実施状況について【資料5】

・特に意見等なし

⑥委託業務における総合評価落札方式（簡易Ⅱ型）の実施状況について【資料6】

- ・特に意見等なし

⑦公共工事設計労務単価等の改定について【資料7】

- ・特に意見等なし

⑧「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」について【資料8】

[建コン] ・3か年緊急対策の工事について、測量業務と工事は分離できないという考えか。

- ・測量業務が工事の下請けとなる場合、歩掛についてはどのようなものを使うのか。また、同様の場合に、ウィークリースタンスの考え方について工事の場合にも徹底していただきたい。

[県] ・3か年緊急対策については、早期に効果を発現させるため、早期発注が可について検討を行った。

- ・説明した堆積土除去工事等の測量については、工事の中でできることから、測量業務と工事の一体発注を考えている。

- ・測量士の資格を持っている方が工事受注者にいれば、自ら測量を行うことが可能である。

- ・ICTの活用については、工事受注者が選択することになる。

- ・ICTの歩掛については、既にある標準歩掛で積算を行う。

- ・県と直接契約関係の無い中でのウィークリースタンスの考え方については、今後の検討課題とさせていただくが、工事受注者にはお願いしていく必要があると考えている。

[測協] ・測量法では、県が行うものは全て公共測量であり、それに従事する者は測量士でなければならないという認識であり、精度も求められる。測量会社が工事受注者の下請けなるということは、民間同士の契約となるので、測量の精度としては元請である工事受注者に確認してもらえばよいのか。

- ・また、河川課の資料（P.20）には「堆積土除去のみ」との記載があるが、その工事だけが一括発注という理解で良いか。

[県] ・「概算数量による発注」を活用するものについては、その測量業務は測量士の有資格者を主任技術者として配置することを求めていくことで考えている。

- ・また、長野県の測量規定に基づいた測量を実施する必要があるため、通常の測量の精度を求め、そのための必要な経費を計上する。よって、測量業務を直接発注する場合と同様の歩掛、内容、精度で考えている。

- ・対象は、樹木の除根等を含む堆積土除去工事のみ。

- [測協] ・道路管理課の場合は、道路災害防除工事だけということによいか。
- [県] ・資料（P.19）に記載のもののみ。
- [測協] ・一括発注の場合の測量費については、民間同士の契約ではあるものの、その支払いについては県でチェックするのか。
- [県] ・工事の施工体制を確認する際に、下請業者からの見積書と契約書をチェックし、見積りに基づく契約がされているかを確認したいと考えている。
- [補償コン] ・道路災害防除工事について、用地を購入して物件調査等を行うものはないのか。
- ・補償調査が必要なものは考えていない。

#### ⑨金抜設計書について【資料 9】

- ・特に意見等なし

#### ⑩災害時における緊急調査の当番登録期間の変更について【資料 10】

- ・特に意見等なし

#### ⑪ウィークリースタンスの実施について【資料 11】

- [建コン] ・先日行われた建コン本部と支部との意見交換会であった意見であるが、「②週末に作業を依頼し、週初めに提出期限とすることを禁止する」について、「提出期限が週半ば」と設定されても作業量が多ければ土日に出勤して仕事をしなければならないので、「③十分な作業時間を確保する」ということもあわせて認識共有をしていただきたい。
- [県] ・分科会の際にも同様の意見がでたため、「③十分な作業時間を確保する」という項目を追加させていただいた。

#### ⑫林務部で実施した航空レーザー測量の活用について【資料 12】

- [測協] ・平成 30 年度の通常の業務で活用させていただいているが、平成 25～26 年度の成果であるので現在の地形と変わっているということもあり、設計に活用するための測量成果となるとどうしても現地調査の必要性がある。
- ・建設部の詳細設計等に航空レーザーの成果を使用する 경우에는、現地調査の項目を加えていただくことを要望させていただく。

#### ⑬林務部が発注する測量設計等委託業務に係る測量杭の県産材使用について【資料 13】

- ・特に意見等なし

(2) 各分科会からの報告事項等 (各分科会座長からの報告)【平成 30 年度分科会活動報告】

- ・特に意見等なし

(3) 「地域を支える調査・設計業」検討会議の 10 年【別冊】

- ・特に意見等なし

(4) その他

[建コン]

- ・BIM/CIM については、品質確保分科会の中でも今後何を行っていくかというところで話題には出ている。
- ・3 年緊急対策でも 3 次元測量を活用した成果を作っていきたいという県の考え方がある中で、それが 3 年ですら終わらずにその次に活かす長野県モデルのような形で考えてもらうことで、委託業界もその方向で整備していったらと思う。

[A d v]

- ・航空レーザー測量の活用について、現地調査の項目を加えてもらいたいといった要望があったが、是非お願いしたい。また、情報公開で県もデータを出して行く方向になると思うので、最新のデータに更新を行っていただきたい。
- ・今後は、委託業界も情報技術がかなり利活用されてくると思うので、情報系コースの新卒者を受け入れるためのプレゼンテーション等の取組もできればよいと思う。
- ・女性や身障者の採用も大きく広げて行っていただきたい。